第２学年２組　道徳科学習指導案

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日時：令和 ５年 ６月１４日（水）５校時

１　主題名　よいことを進んで行うために【Ａ－(１)　善悪の判断，自律，自由と責任】

２　教材名「みんなのニュースがかり」（新・みんなのどうとく２、学研）

３　主題設定の理由

（１）道徳的価値について

本主題は，低学年の内容項目【Ａ－(１)　善悪の判断，自律，自由と責任】「よいことと悪いことの区別をし，よいと思うことを進んで行うこと」をねらいとしている。指導に当たっては，積極的に行うべきよいことと，人間としてしてはならないことを正しく区別できる判断力を養うことが大切である。また，よいと思ったことができたときのすがすがしい気持ちを思い起こさせるなどして，小さなことでも遠慮しないで進んで行うことができる意欲と態度を育てる指導を充実していくことが大切である。

（２）児童観

（略）

（３）教材観

　　　本教材は，ニュースがかりのけいすけが書いたニュースが，正しくない情報であったため，みんなが怒ったことから，もう一度書き直すと，今度はみんながうれしそうに読んでくれたといった内容になっている。友達のことを紹介するニュースを書いたけいすけだが，あいまいな記憶で書いたため，事実とは異なる情報をクラスに発信してしまう。よかれと思ってしたことが，結局は間違った行動になってしまった。自らの過ちを認め，よいと思う行動をとることの大切さに気付くとともに，正しい情報を伝えることの大切さに気付くことで，情報モラルについても学ぶことができる教材となっている。

（４）指導観

　　　本時はけいすけの行動や周りの反応を一つ一つ確認することを通し，けいすけが自らの行動を反省し，よい行動をしたことに気付けるようにしたい。そして「みんなが喜ぶニュースにするためにはどうしたらよいか」について考えることを通し，正しい情報，間違った情報を伝えることの善悪，正しいことを伝えることの必要性について気付くことができるようにする。また，情報の伝達に限らずに，「よいこと」「よくないこと」を考えて行動したことを振り返ることにより，人として行ってよいこと，社会通念として行ってはならないことを区別する道徳的判断力を育みたい。

４　本時のねらい

　　　過ちを認め，自分がよいと思うことを進んで行おうとする道徳的判断力を育てる。

５　大玉村重点事項「心に響く道徳の授業づくり（思いやり・強い意志）」との関わり

**【視点１】実体験を振り返る場の設定**

　　　善悪の判断について，児童の体験を振り返り，自己を見つめる時間を設定する。それにより，児童がより実感を伴って道徳的価値について考えることができるようにする。

**【視点２】考えの形成，多様な考えの理解（話し合いによる考えの共有）**

　　　友達と話し合うことを通し，自分の考えを言語化できるよう，話合いや交流の場を設定する。ペアで話し合う場を設定することによって，自分の考えを言語化するとともに，様々な考えや感じ方があることに気付くことができるようにする。

６　学習課程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動・内容 | 時間（分） | ○指導上の留意点　◎村重点関連　※評価 |
| １　学習課題を確認する。  （１）教材の挿絵を提示し，どんなことが起こっているか考える。  　①　けいすけがニュースを書く挿絵  　② 　友達が怒っている挿絵  （２）教材文を読み，けいすけの行動について話し合う。  　　・　間違ったニュースを書いてしまったのはよくなかった  ・　きちんと直したところはよい  （３）　学習課題を確認する。  みんながおこらないためには，  どうしたらいいかな。  ２　みんなが喜ぶニュースにするためには，どんな気持ちをもつことが大切なのかを考える。  （１）ペアで話し合う。  （２）自分の考えを書く。  （３）全体で話し合う。  ・　正しいことを書く。   * 「たぶん」では書かない。 * まちがっているかもしれないからたしかめてみよう。   （４）テレビで間違った情報を伝えていたら，どう思うか考える。  　・　みんなが間違ったことを信じてしまう。  　・　怒る。嫌だ。  ３　「よいこと」「よくないこと」を考えて行動したことについて，自分の生活を振り返る。  ４　学習を振り返る。 | １５  １５  １０  ５ | ○　教材の挿絵から，何が起こっているか，けいすけ本人や友達の気持ちを想像することにより，けいすけがよいと思ってやったことが友達を困らせていることを捉えやすくなるようにする。  ○　間違った情報をニュースとして伝えたことで，友達を怒らせたこと，けいすけがニュースを書き直したことを確かめることを通し，正しい情報の伝達や，進んでよいことをする大切さに気付くことができるようにする。  ※　よいと思うことを進んで行うことについて，登場人物の気持ちに自分を重ねながら考えているか。（発表，ワークシート）  ○　「怒らない＝喜ぶ，嫌な気持ちにならない」ことを確認する。  ○　ペアで話し合う場を設定することにより，自分の考えを言語化しワークシートに書くことができるようにする。  ◎　全体で考えを話し合うことにより，様々な考えや感じ方があることに気付くことができるようにする。  【視点２】  ○　間違った情報が伝えられていたら，怒ったり，嫌な気持ちになったりすることを考えることを通し，正しい情報を伝えるよさに気付くことができるようにする。  ◎　「よいこと」「よくないこと」について生活を振り返ったり，その時の気持ちを考えたりすることを通し，よいと思ったことを進んで行うことについて実践意欲につなげられるようにする。　 【視点１】  ※　よいと思うことを進んで行うことについて，自分の生活を振り返って考えているか。（ワークシート）  ○　友達の考えのよいところや，大切だと思ったことを振り返りの視点として提示することで，本時の学習を振り返り，ワークシートに書くことができるようにする。 |

７　板書計画

